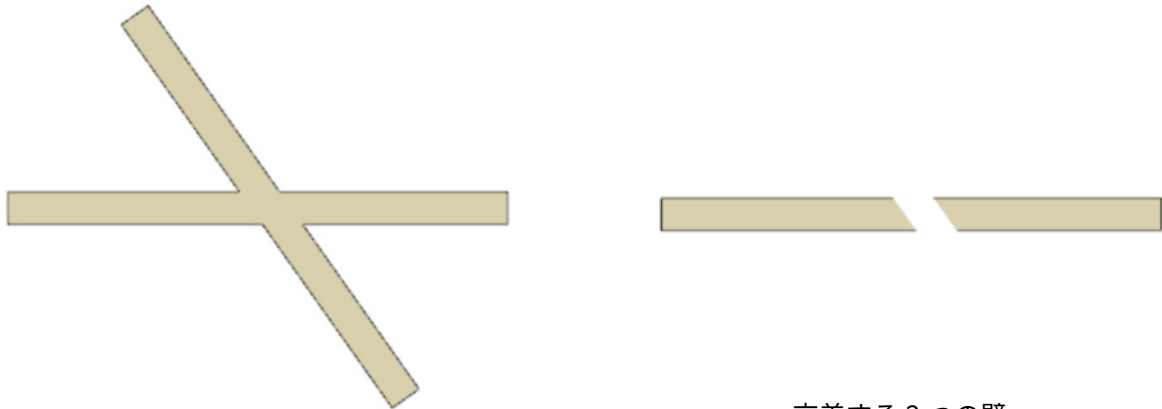


## レイヤーセット内の交差アドオンについて

Archicad 8 以降のバージョンでは、自動包絡はレイヤーに割り当てられた交差グループ番号にリンクされます。同じ交差グループ番号のレイヤーに属する要素は、レイヤーの表示状態に関わらず包絡します。異なる交差グループ番号のレイヤーに属する要素は、包絡しません。



交差する2つの壁。

交差する2つの壁。  
そのうちのひとつは見えないレイヤーにあります。

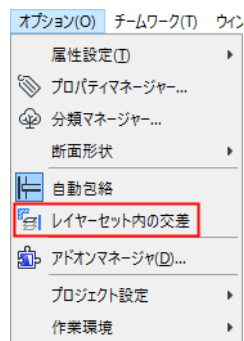
アドオンレイヤーコンビネーションの交差アドオンを使用すると、可視の建物要素が不可視の建物要素と交差しないことを保証できるため、レイヤーの交差番号を適切に設定しなかったために生じる不明確な接合を避けることができます。

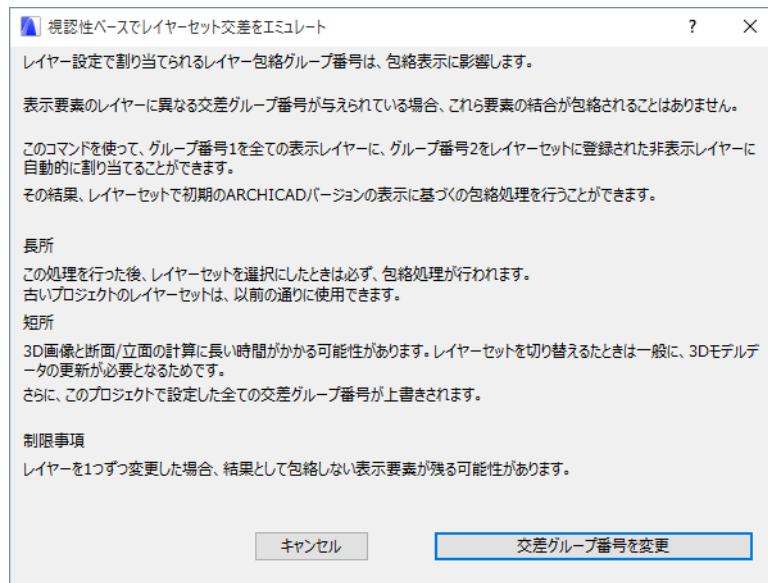
このアドオンは以下の製品に含まれます。G oodies Suite の一部です。

このアドオンで、レイヤーの交差番号を簡単に管理できます。

レイヤーの交差グループ番号はレイヤーセットに保存されているので、同じレイヤーでもレイヤーセットが異なれば、異なる交差グループ番号を持っている可能性があります。

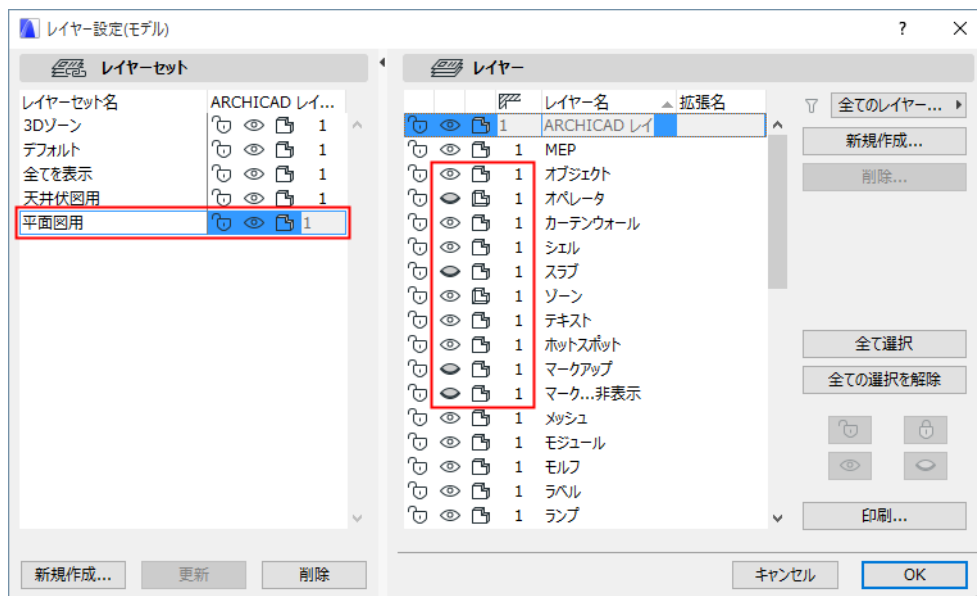
アドオンをインストールすると、新しいコマンド交差点グループ番号の変更にアクセスできるようになります。オプションメニューからアクセスできるようになります。



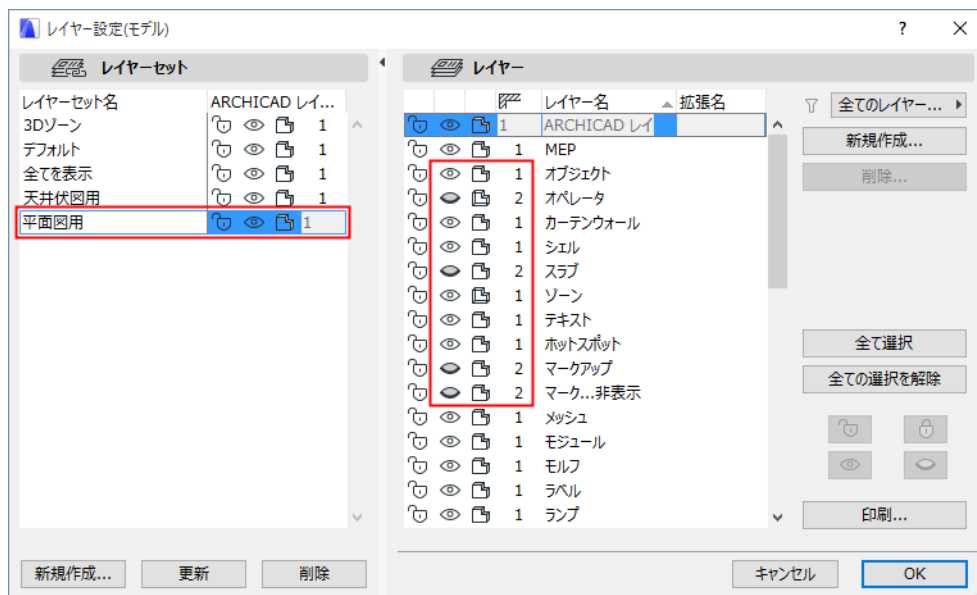


コマンドを使用して交差グループ番号の変更を使うと、レイヤーセットに登録されている可視のレイヤーにはグループ番号「1」を、不可視のレイヤーにはグループ番号「2」を割り当てることができます。

レイヤーの交差点グループ番号を変更する前：



レイヤーの交差グループ番号を変更した後：

**重要：**

- さらに、このプロジェクトで設定した全ての交差グループ番号が上書きされます。
- レイヤーを1つずつ変更した場合、包絡しない交差のある可視要素が残る場合があります。しかし、後でいつでもコマンドを再実行できる。

注意初めてレイヤー設定ダイアログを開いたとき、コマンドの効果はすぐには表示されません。ダイアログの内容を更新して変更を確認するには、別の組み合わせに変更してから元の組み合わせに戻さなければならない。

**免責事項：**

Goodies は Archicad の基本機能に加え、特定の機能提供するために GRAPHISOFT が開発した無料のアドオンです。Archicad 20 以降より、Goodies Suite インストーラから全ての Goodies を一度にインストールできます。これらは GRAPHISOFT がもうサポートしていないレガシーコードに基づいています。自由にご利用いただけますが、正しく機能しない可能性があり、修正やアップグレードはできません。